



特集

いのちを
まもる



現場の芽
市内企業レポート
行ってきました
さんかく図書室
人のわ

よつばの手紙



青梅市男女平等情報紙

No.21

特集

いのちをまもる

警視庁 青梅警察署

日本各地で命にかかわる交通事故や事件のニュースが後を絶ちません。身近な地域ではどのようなことが起きているのでしょうか。地域の安全のため日頃お世話になっている青梅警察署を訪問し、交通課交通総務係上席係長横尾勇一警部補と、交通総務係松尾幸緒巡査長のお二人にお話を伺ってきました。



写真右 横尾勇一 警部補
写真左 松尾幸緒 巡査長

高齢者の交通事故

Q 全国で高齢者の交通事故が増えています。青梅近辺ではどうでしょうか。

高齢者の事故件数は大きな増減はありませんが、もともと高齢者に関与する事故が多く、人身事故にかかわる高齢者の割合は全体の約40%で、近隣地区に比べて高いほうです。

奥多摩地区では高齢比率が高いですが交通量が少ないので、事故件数は少ないです。しかし、夜間は暗く視認性が悪い場所が多いので、対向車に自車の存在を知らせるハイビームと反射材の活用で交通事故防止をお願いします。

事故例

Q どのような事故例、ヒヤリ・ハットがありますか。

重大な事故には至らないものの、ヒヤリとしたり、ハッとしたりするようなアクセルとブレーキの踏み間違いが多いです。とくに駐車場の出入り口です。高齢者の運転はスピードを出していないのですが、反応が遅くなりがちで事故につながっています。

運転免許返納



Q 運転免許証の返納率は上がっていますか。

働きかけはしていますが、なかなか進みません。ニュースなどで高齢者の事故が報道されますと、返納する人が増える状況です。

車がないと生活に困るといふ地域の特性もあるため、運転免許証を手放せない人が多いです。過去に事故を起こした人を訪問し、自主返納を勧めています。やはり車の必要性を訴える人や運転に自

信のある人が多く返納には時間がかかります。最近は家族からの問い合わせも増えてきました。家族からの説得をお願いします。

自転車の事故について

Q 子ども、乳幼児を乗せた自転車の事故は増えていますか。

増えてはいません。

注意してほしいのは自転車子どもをおんぶすることはできません。前抱っこはできないということです。転倒すると非常に危険です。自転車一台に大人一人が乗せられるのは子ども二人までです。

Q どのような事故例がありますか。

自転車の事故で多いのは、自転車の信号無視や一時停止を守らないことです。また、自転車は二段階右折をしなければならないのに、それを守らない人が多いです。自転車は軽車両で車の仲間ですので、決められた交通規則やルールを守るようお願いいたします。

また、自転車に限らず、保育園などの送り迎えや駐車場で、子どもを先に降ろした際に子どもが他の車両と事故にあうことがあります。目と手を離さないようお願いいたします。

Q事故を少なくするために対策はありますか。

子どもは13歳未満まで、ヘルメットをつける努力義務があります。命を守るために、ぜひ着用してください。市役所の市民安全部市民安全課に申請すると、2000円の助成金が出ます。高齢者世代は現在の小学生のような自転車の交通安全教育を受けていないので、自転車の交通ルールを知らない人も多いようです。自転車走行のシミュレーションなどの講習の機会があれば、ぜひ受けてみてください。自治会や出前講座などで、防災とセットで受けられることもあります。

学校の通学路の安全について

Q事故、不審者から子どもを守るための対策はありますか。

市、警察、道路管理者が協力して通学路の安全点検を行い、改善に取り組んでいます。また、スクールゾーンの取り締りを強化し、警察署全体で登下校のパトロールに取り組みました。

最近では、保育園などから散歩コースの安全性についての相談が多く寄せられ、対応しています。



道路標示



規制標識

Q地域で努力している例はありますか。

駐在所の警察官をはじめ、交通安全協会や青梅母の会などの皆さまが通学路の見守りに携わっています。子ども

もの交通事故は少なくなってきた、2019年6月現在で交通事故全体の4.4%になっています。

女性警察官について

Q女性警察官の割合はどのくらいですか。

青梅署では全体の1割弱です。ほとんどの部署に女性警察官が従事しており、さまざまな部署で活躍しています。この交番マークのある交番には、女性相談員の警察官がいます。



Q子育て中の警察官の働き方で工夫されている点、苦労されている点はありませんか。

現在は育児休暇、出産休暇を取得できるような環境にあります。復職後も、時短勤務などで配慮してもらえます。緊急・臨時で出勤しなければいけない場合は、夫婦で勤務時間を調整したり、ベビー

シッターを利用したりすることで対応しています。

一日の仕事の一例

松尾幸緒巡査長の仕事内容は、交通事故を防ぐための安全教育が主たる業務です。各種交通安全教室や講習会、事故防止キャンペーンでは、交通ルールをみなさんにお伝えし、反射材などの交通事故防止グッズを配布し活用していただけよう努めています。



保育園での交通安全教室の様子

※インタビュー…2019年7月19日

所在地…東京都青梅市野上町

4丁目6番地の3

電話…0428-22-0110

最寄駅…JR青梅線河辺駅(徒歩8分)

管轄区…青梅市と西多摩郡のうち

奥多摩町

現場の芽 地域防災の要 青梅市消防団

消防団は、市の消防機関ですが、消防団員は、消防を本業としていないわけではありません。普段は、自分の職業につきながらも、いざ火災が発生するとすぐさま現場へ出動し、消火活動にあたります。

いざという時のために、日頃から火災などを想定した訓練や消防車の整備点検などを行っています。また、消防団員は、消火活動だけでなく、さまざまな活動をしています。

Q 消火活動以外の活動って、出初式



防災訓練の様子

一月に行われる出初式では、40台を超える消防車両が整列行進します。また、各分団から選抜された団員による鮮やかな五色の一斉放

水演技や、青梅消防署はしご車隊による演技などが披露されます。

操法審査会

火災現場での消火活動を想定し、訓練の成果を競う大会です。士気、規律の状況、迅速な行動、器具の確実な操作、技術、安全管理などを披露します。

歳末警戒

12月25日から31日まで、歳末における火災予防を目的に、車両による火災予防広報と警戒を行います。この他にも、地域の皆さんとのコミュニケーションや防火啓発活動など、団員それぞれの知識や技術を活かした活動は多岐にわたります。

Q 女性消防団の活躍は。

青梅市では、2014（平成26年）から女性消防団員制度を導入し、現在11人が団員として活動しています。

原則として青梅市消防団では女性には消火活動には従事しません。主な活動は、出初式や審査会にお

ける受付やアナウンス、火災予防の周知啓発、高齢者宅の防火訪問、地域や保育所などでの防災教育、消防署と連携し応急手当の普及などにあたっています。

保育園での防災教育では紙芝居などを披露し、子どもたちに身近で分かりやすく防火、防災を伝えていきます。

Q 消防団の処遇は。

青梅市の条例に基づき、職務手当・出動手当が支給されます。活動に必要な被服（制服・活動服）が貸与されます。労務災害補償制度・退職報償金制度があります。

Q 消防団に入るには。

青梅市消防団では性別を問わず市内に居住または勤務する18歳以上の健康な人で、一緒に活動していただく団員を募集しています。消防団への入団手続きや活動については、市防災課消防係へお問い合わせください。

問合せ 市民安全部防災課防災係
電話：0428812211
(内線 2502)

多様な性への啓発

市では、2018（平成30）年度に策定した第6次青梅市男女平等推進計画で、「多様な性に関する理解促進」を施策の一つに掲げ、「多様な性への啓発」を取り組み項目の一つとしています。啓発事業として2019（平成31）年3月にLGBTなどの性的マイノリティ（性的少数者）などについて、正しい知識や理解を得るためのリーフレットを作成いたしました。詳細は市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.ome.tokyo.jp/shiminkatsudo/tayounaseihenokeihatu>





代表取締役 須崎弓さん

～「樹脂専門」「絶対品質」で妥協を許さないものづくりをしています～

株式会社ソーケンすざきゆみの代表取締役須崎弓さんに事業内容や自社での取り組みについてお話を伺いました。

市内企業 レポート



◆事業内容◆

先代から2019年4月に事業を引き継ぎ、樹脂専門に素材を取り扱う超精密微細加工を得意として、製造装置、食品加工機械、分析機器などの電子部品を製造しています。樹脂の高精度切削加工により、他社から断られたような難しい加工でも当社の技術で可能な限り、お客様の依頼にお応えしています。

当社は企業としての経営・企画およびその実行内容・実績実態が健全かつ、お客様の満足度を高めていくことを理念として取り組んでいます。

◆会社での取り組み◆

製造現場ではほとんど男性職員が作業や管理を行っていますが、機械設備を使いこなしながら細かい作業を行う女性職員もいます。当社では高品質・高精度・安定供給をモットーに職員が一丸になって対応しているので、不良品発生率0.01%以下でお客様に一流の部品調達をすることができています。

◆さらに技術を磨くために◆

製造技術や加工技術はより多くの経験を現場で積むことで蓄積されていきます。そのためには先輩から後輩、職員同士の教育、技術伝承が重要になってきます。職員にはコミュニケーションを今以上に図ってもらいながらお互いの技術を高めてもらえればと思っています。また、社内研修だけでなく、必要に応じて外部研修も行っていきたいと考えています。



その結果が、当社、職員および取引先のすべてが健全であり続けることにつながると思います。

◆今後について◆

代表取締役に就任してまだ間もないこともあり、勉強の日々が続いています。現在、青梅市主催の女性のためのビジネススクールに参加して、市内企業で活躍されている女性たちと一緒に経営全般などの勉強をするとともに、人的ネットワークも広げています。自分自身だけでなく、企業全体としての底上げをするためにも職員とともに技術力を向上させて切磋琢磨し、お客様の満足度を高めていきたいと思っています。また、ここで退職金制度も定めたので、その他の福利厚生も充実させながら職員が働きやすい環境整備に努めたいと思っています。

株式会社ソーケン（今寺5丁目）
設立 1984（昭和59）年
従業員数 15人（男性9人／女性6人）
樹脂専門超精密微細加工部品製造
<https://www.sokentec.net/>

相談窓口の案内

	相談先	内容
女性の相談	東京ウィメンズプラザ Tel.03-5467-2455 毎日 9:00～21:00（年末年始は休み）	女性の総合相談 ドメスティック・バイオレンス、夫婦・親子の問題、生き方や職場の人間関係など （就職活動の支援は行っておりません）
	東京都女性相談センター 多摩支所 Tel.042-522-4232 月～金曜日 9:00～16:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	
	青梅市役所 Tel.0428-22-1111 月～金曜日 8:30～17:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	
	青梅警察署 Tel.0428-22-0110 緊急の場合 110番通報	ストーカー被害の相談は、直接警察署にご連絡ください。
女性の就職	マザーズハローワーク立川 Tel.042-529-7465 月～金曜日 9:00～16:00（土・日曜日、祝日は休み）	専属の担当相談員による女性の就職活動全般の相談（キッズスペースなど併設）

男性のための悩み相談

東京ウィメンズプラザ Tel.03-3400-5313 電話相談 月・水曜日 17:00～20:00（祝日、年末年始は休み）
夫婦や親子の問題、生き方・職場の人間関係、セクシャルハラスメントやDV、デートDVなどの暴力の問題など、男性の抱えるさまざまな悩みに男性相談専門の相談員が対応します。



新庁舎

行ってきました



東京都西多摩保健所

東京都西多摩保健所は、住民の健康やくらしの安全をまもるための西多摩地域の拠点です。地域の健康をまもる施設として、意外に知られていない保健所の事業について伺ってきました。

9月に新規移転

西多摩保健所は2019（令和元）年9月30日、東青梅一丁目に建設した新庁舎に移転します。

西多摩全域（4市、3町、1村）を管轄するその機能は多岐にわたり、飲食店や医療機関・薬局等許認可、感染症・食中毒対策、骨髄ドナー登録、こころの健康や病氣・



移転先：東京都青梅市東青梅一丁目167番地15 【最寄駅】東青梅駅 徒歩5分

ひきこもりなどの相談、難病で療養中の人や重症心身障がい児への支援など幅広く事業を行っています。また、花粉飛散調査や井戸水などの水質調査、さらに薬物乱用防止や食の安全について無料で出前講座も行っています。

野菜メニュー店

東京都の保健所では、健康づくりをサポートするために、1食当たり120g以上（1日摂取目標量の3分の1）の野菜を使用したメニューを提供している店舗を野菜メニュー店として登録しています。青梅市内には、現在15店舗あります。西多摩保健所はこれに加えて、一部の店舗で、減塩対応サービスの「食塩ほどこぼどオーダー」や高齢者が食べやすい「やわらかオーダー」、低栄養予防に役立つ「元気応援メニュー」などのオプションサービスの普及にも取り組んでいます。



野菜メニュー店ステッカー

野菜メニュー店には店頭にステッカーがありますので、ぜひ立ち寄ってみてください。

食中毒対策

食中毒のなかで近年発生件数が多いのは、サバやサンマなどの青魚にひそむアニサキス（寄生虫）と、鶏肉の生食で発生が多いカンピロバクターによるものです。

実は流通している鶏肉の4割から6割はカンピロバクターに汚染されていることが分かっています。



写真左 けんもつちから 薬劑師 写真右 くらもちりょう 保健師

子育てパパも活躍中

す。必ずしっかりと加熱すること、生肉に触れた手や調理器具を口にするものに付着させないことなどを守れば防ぐことができます。バーベキューなどの野外調理の際には、十分気をつけてください。

西多摩保健所では現在74人が勤務していて、医師、歯科医師、薬剤師、診療放射線技師、歯科衛生士、栄養士、保健師、獣医師、衛生監視など専門職の人が多く在籍しています。

そのなかで育児真っ最中という保健師の倉持諒さん、薬剤師のけんもつちからさん、薬劑師のけんもつちからさんの2人に話を伺いました。

保健師と薬剤師というそれぞれの立場で、難病の患者へのサポートや家庭訪問、学校へ出張し薬物乱用対策の講座を行うなどの業務を行っています。

子どももまだ小さいので、急な発熱で呼び出され早退したり、保育園への送り迎えを分担したりするなど、育児にかかわるパパとしても奮闘しています。西多摩保健所の職員の育児休暇取得率は高く、男性でも出産支援休暇として出産時に2日間、また育児参加休暇として産後5日間の休暇制度があります。男性が育児へかかわることへの職場の理解もあり、そこで、育児と仕事を両立しやすい職場環境であると感じました。

※インタビュー…2019年7月12日

新所在地
東京都青梅市東青梅1-167-115
電話番号 0428-22-6141

さんかく図書館



『高齢ドライバーの安全心理学』

まつらつねお 松浦常夫 / 東京大学出版会

高齢ドライバーが事故を起こすと、マスコミは一斉にニュースとして大きく取り上げるため、世間では「高齢者の運転は危険だ」と認識されています。では、高齢者の運転のどんな点が危険なのでしょう。そこには実にさまざまな要因があります。事故の原因や過去の事例は、高齢ドライバーの運転と事故の特徴、運転を諦め運転免許証を手放すための貴重な情報です。高齢ドライバーに限らずすべてのドライバーに読んでほしい本です。

『子どもの防犯マニュアル』

ふにゅうたけお 舟生岳夫 / 日経BP社

子どもを危険から守るためには、どのような準備をしておくのでしょうか。防犯についてだけでなく、スマートフォンの持たせ方や交通事故の予防方法など、幅広く扱っています。子どもへの注意の仕方や話の引き出し方は、普段何気なく使っている「ダメでしょ」「なんでそんなことをしたの」など大人の言葉がいかに無意味なのかに気付かされます。





人のわ

有限会社 成康工務店
代表取締役 加藤諭さん (42歳)

わたしは創業49年の青梅市黒沢にある成康工務店の二代目として国産の無垢材を使った住宅や住宅のリフォーム工事を行っています。この業界には手伝いの期間を入れると15歳のころから携わってきました。

わたしの仕事は建売住宅とは異なり一棟一棟建築主（お客様）と密に打ち合わせを重ね、職人の技術を用いてオンリーワンの家作りを行います。

とくに施工者として、隙間なく木材同士を接合する加工精度に自信があり、上質な家を建てることには誇りを持っています。

建築主には家が建つ工程を見てもらい、一緒に一つの作品を作るように



加藤諭さん

建てていきます。この工程をきちんと踏むことで、建築主が家に愛着を持ち、これから住む家を好きになってくれるのだと思います。

おかげで家の細部まで詳しくなった建築主が、友人などに紹介してくださるので、とてもうれしく思います。

建築主に喜んでもらう続けるためにも技術を次の世代へ伝える役割も担っています。

技術もそうですがわたしが若い衆にまず教えるのはあいさつや掃除、人としてのマナーを指導します。

この仕事は建築主とのつながりが大切なので、まずはそこから教え、ある程度任せられるようになるまで最低5年ぐらいはかかります。一生ものの家を建てるには、途方もない修行をしなければなりません。

わたしの休日の過ごし方は家族で御岳山に登ったり、成木の川でサワガニ捕りをしたりして過ごしています。子どもたちにはなるべく自然に触れる環境で育ってもらいたいと思うので、その点でも青梅は自然が豊かで

生活環境として最適だと思います。

また青梅には温かみのある人が多く、私の周りにも少しでも青梅をよくしていこうと活動している友人や若者がいて、勉強させてもらっています。

今以上に工務店としての仕事を頑張つて、青梅で活動をしている人をサポートできるような、そんな縁の下力持ちになれるように活動も広げたいと思っています。

ホームページ

<http://naryasu-koumuten.com>



自社工場

編集後記

- 車の運転には気をつけていても、とっさの判断には自信がありません。高齢になるにつれて、周りの客観的なアドバイスを素直に聞く耳が必要だとつくづく思いました。(み)
- 製造業を営んでいる女性代表取締役はなかなかいないので、貴重な話を伺うことができました。これからも製造業で活躍する女性が増えていくような、そんな期待が高まりました。(い)
- わたしたちの健やかな毎日のために、いろいろな角度からさまざまな専門家の地道なサポートがあることを改めて知りました。(に)
- 自分の仕事に誇りを持って取り組む姿が素晴らしく、そしてこれからも技術が脈々と受け継がれて行って欲しいと思いました。(よ)